

【河川】阿武隈川改修100周年事業 平成10年災害から20年 座談会「白河地区」開催！

1. 概要

- 平成10年8月末洪水及び9月台風5号洪水による甚大な被害が発生した「平成10年災害」から20年が経過しました。
- 「平成10年災害」を忘れてはならない教訓として次世代に語り継ぎ、大規模氾濫時の避難を含めた今後の対応について考えるきっかけづくりを目的として、令和元年8月27日に**白河地区(白河市・西郷村)の座談会を開催**しました。
- 昨年度より「伊達地区」、「阿武隈川上流地区」、「郡山・須賀川・本宮地区」で開催しており、**今回が4地区目の開催**となります。

2. 開催概要／実施状況

- 日時：令和元年8月27日(火)14:30～16:00
- 場所：白河市立図書館
- 出席者：白河市長、西郷村長、福島県、
福島河川国道事務所長 ほか
計8名
- 参加者：約60名

議事内容

- (1)平成10年災害の振り返り
- (2)平成10年災害後の取組み
- (3)これからの阿武隈川を考える

※別途、議事録を公表する予定です。

3. 主なご意見・コメント等

【鈴木和夫 白河市長】

- ・地域のコミュニティが強いところが、災害時の被害が少ない傾向にあると思う。**コミュニティの強化とともに、災害の経験を後世に伝えていくことも重要**であり、行政も協力していきたい。
- ・川は**安らぎの源泉**であり親しみをもってもらいたい。

【高橋廣志 西郷村長】

- ・災害は**いつどこで起こるか分からない**ので、平時から**防災訓練の実施や自助・共助による備え**をしっかりとやっていきたい。
- ・**サイクリングロードを活用し、平常時から川を見てほしい。**

【その他】

- ・まさかこの地区でここまで**大きな水害**が起きるとは誰も考えていなかった。
- ・堤防がかけて決壊の恐れがあったので、木流し工でそれを防いだ。**木流し工は浸食防止に効果がある**ことがよく分かった。
- ・町内会の初動として、婦人会に連絡をして炊き出しの準備をしてもらった。災害対応は長期に続くので、**炊き出しはとても重要**である。
- ・万一に備え、**町内会が連携し、連絡体制を確認**するとともに、町内の集まりでは、過去の水害の話をして、水害を知らない世代にもしっかり伝えている。
- ・堤防整備後に桜を植えたり、遊歩道を整備して、**川に親しみをもてるような環境作り**をしてほしい。



座談会の様子



会場全体の様子



白河市 鈴木市長



西郷村 高橋村長



福島県 加藤 県南建設事務所長



白河市 邊見 消防団長



白河市 伊藤 町内会連合会長



西郷村 花安 行政区長会長



西郷村 矢吹 消防団長



小浪 福島河川国道事務所長